

2024 年 9 月 10 日

## 教職員ヒアリング調査（案）について

### 1. 概要

- (1) 目的：教育・研究・施設設備等の現状の課題およびニーズを把握するため。
- (2) 時期：2024 年 8 月～10 月（予定）
- (3) 方法：仕様書の評価項目に基づき教職員にヒアリング調査を行う。（ヒアリング実施先や質問項目等は下記ご参照）
- なお、本調査に先立ち、8 月 28 日(水)に医療整備課および日本開発構想研究所にて保医大に視察に伺った際に、主要役職者より話をお伺いしたことから、その内容についてもまとめ、適宜調査結果に反映する。
- (4) 実施先：（教員）学長、副学長、健康科学部長、  
学科専攻長(看護・栄養・歯科衛生・リハビリテーション理学療法  
学専攻リハビリテーション作業療法専攻)、将来構想委員会関係教員  
（職員）事務局長、企画運営課長、学生支援課長、施設・設備担当職員
- (5) 調査主体：千葉県健康福祉部医療整備課および日本開発構想研究所にて実施。

### 2. 調査・質問項目等

#### (1) 教員ヒアリング

| 質問（案）   |
|---|
| <p>① 大学全般について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後保医大が果たすべき役割はどのようなものか。<br/>（地域包括ケアを推進できる人材養成、地域医療において多職種と連携できる人材養成、県民の健康医療政策研究拠点等）</li> </ul>   |
| <p>② 学部について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在の学部学科構成で充分か。<br/>（新たな学部設置および既存の学部学科の改組等への考え）</li> <li>・ 現在の学部の規模は適正か。より多くの人材輩出が求められた場合に収容定員増は可能か。可能であれば入学需要や教育実施体制からどの程度が適正か。</li> <li>・ 現在の学部教育に加える学びはあるか。<br/>（データサイエンスリテラシー教育、実践教育、学科連携の促進等）</li> </ul> |
| <p>③ 大学院について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大学院は必要か否か、およびその理由。</li> </ul>   |

## 質問（案）

- ・（大学院が必要な場合）**想定する学問分野、必要な課程はあるか。**  
（保医大が現在有する保健医療分野および新たな保健医療領域等、修士・博士）
- ・**養成したい人材像等はあるか。**  
（高度専門職業人、教育者、研究者等および各々の具体的な人材像、取得資格等）
- ・**大学院に持たせたい機能はあるか。**  
（共同研究、産学官連携、県民の健康維持増進拠点等）

### ④ 他

- ・**教育研究面からみた施設設備についての希望はあるか。**  
（大学施設（講義室・実習室・演習室、運動場、図書室等）、大学設備（教具・機器・備品等）、キャンパス立地（2キャンパス維持、1キャンパス統合（幕張、仁戸名）、その他等）、その他機能強化に必要な付随的機能（メディアセンター、食堂・売店、寮、システム、県民健康維持増進施設等）
- ・**教育研究の観点から公立大学法人化についてどのように考えるか**  
（雇用および教育・研究活動への影響、企業との共同研究・受託研究等）

## (2)職員ヒアリング

## 質問（案）

### ① 大学運営について

- ・**大学運営の観点から公立大学法人化についてどのように考えるか。**  
（地域包括ケアを推進できる人材養成、医療のタスクシェア・タスクシフトに寄与できる人材養成、県民の健康医療政策研究拠点等を効果的に運営する観点）
- ・**現在の2キャンパス体制での運営面での課題はあるか。**  
（学生支援、教育研究支援体制、入試広報等）
- ・**事務局を継続的かつ安定的に運営するために取りうる手法や改善点はあるか。**  
（事務作業のシステム化・効率化、業務委託等）

### ② 施設について

- ・**インフラ整備に課題はあるか。**  
（大学施設・設備全般、ネットワーク、システム等）
- ・**その他現在学内にない施設で機能強化に必要となる施設・設備等はあるか。**  
（メディアセンター、食堂・売店、寮、システム等）

以上